

<b>Course number</b>		G-LAS15 80002 LB70					
<b>Course title (and course title in English)</b>	有人宇宙学 Human Spaceology: The Study of Human Space Activities			<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Program-Specific Professor, Takao Doi Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Professor, YAMASHIKI YOSUKE Graduate School of Education Associate Professor, TAGUCHI MANA Center for the Evolutionary Origins of Human Behavior Professor, YUMOTO TAKAKAZU Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Related instructor		
<b>Group</b>	Interdisciplinary Graduate Courses		<b>Field(Classification)</b>		Interdisciplinary Courses		
<b>Language of instruction</b>	Japanese and English		<b>Old group</b>		<b>Number of credits</b>	2	
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Lecture (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025・Second semester	
<b>Days and periods</b>	Wed.5		<b>Target year</b>	Graduate students	<b>Eligible students</b>	For all majors	
(Students of Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
有人宇宙活動を宇宙に恒久的に人類社会を創造する活動であると定義する時、人類が宇宙に展開するための新しい総合科学：人間 - 時間 - 宇宙を繋ぐ有人宇宙学が必要となる。有人宇宙学は、宇宙 - 時間（宇宙の進化）、時間 - 人間（生命の進化および文明の進化）、人間 - 宇宙（宇宙開発の進化）の4つの進化過程を司る学問である。それは、宇宙に人間社会を創ろうとする試みが、自然科学分野のみならず、人文社会科学分野にも幅広く関係していることによる。この講義では、人類が宇宙における持続可能な社会基盤を構築するために何が必要なのか、自然科学的・人文社会科学的に解説する。理工系ばかりでなく人文社会系学生が、宇宙における持続的社会的構築という命題の中に、自分の研究分野との接点を見つけ、自分の研究の新たな意義と新しい方向性を見出すことをめざす。							
<b>[Course objectives]</b>							
人類の宇宙進出が地球文明にとって何を意味するかを理解し、人類が宇宙に持続可能な社会基盤を構築することが可能であるのかを、有人宇宙学、宇宙環境工学、宇宙探査工学、宇宙生命科学、宇宙生物学、宇宙医学、宇宙霊長類学、宇宙人類学、宇宙法、宇宙居住学など幅広い学問分野の融合から探求することを学ぶ。							
<b>[Course schedule and contents]</b>							
【第1回】	10月7日	有人宇宙学1（山敷・土井・田口）					
【第2回】	10月14日	有人宇宙学2（土井）					
【第3回】	10月21日	宇宙探査工学（清水）					
【第4回】	10月28日	有人宇宙学演習1（山敷）					
【第5回】	11月4日	宇宙生命科学（保尊）					
【第6回】	11月11日	宇宙生物学（辻）					
【第7回】	11月18日	宇宙医学（寺田）					
【第8回】	11月25日	宇宙環境工学（山敷）					
【第9回】	12月2日	宇宙霊長類学（湯本）					
【第10回】	12月9日	宇宙法（青木）					
【第11回】	12月16日	宇宙人類学（岡田）					
Continue to 有人宇宙学(2)							

## 有人宇宙学(2)

- 【第12回】 12月23日 有人宇宙学演習 2（山敷）  
【第13回】 1月 6日 宇宙居住学（稲富）  
【第14回】 1月13日 有人宇宙学演習 3（山敷・土井・田口）  
【第15回】 1月27日 フィードバック

講師の都合により、講義日程が前後する可能性がある。

### [Course requirements]

学部学生も聴講可能である。宇宙総合学を履修していることが望ましい。

### [Evaluation methods and policy]

講義への出席、3回の有人宇宙学演習において各講義要素の理解度と積極性・創造性及び最終レポートによって評価する。

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

なし

### [Other information (office hours, etc.)]

なし

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

### [Essential courses]